

# 小杉駅・井田・明津地域間の

## バス利便性はいかに？

川崎市議会議員 末永 直

川崎市議会平成29年第三回定例会が、去る10月6日、閉会した。前号に続き、決算審査特別委員会の報告を。私は9月22日、井田・明津地域から小杉駅周辺へのアクセスはどれくらい向上したのか？等、交通局担当課長に質問した。

背景を御存じない方の為に、概要を記載したい。平成28年4月より井田・明津

地域と小杉駅間のバス路線の見直しが行われた。元住と増回した。

① 運行本数は。一答弁「合計で平日22回から56回（小

杉駅から井田・明津地域）と増回した。

② 降車人数は。一答弁「降車数42人（平成28年3月末）に対し、降車数180人（平成28年10月初旬）」（※平日朝6時～8時。小杉駅東口及び横須賀線小杉駅の両駅のバス停留所において行った調査より）

現金及び磁気式乗車券での乗車数の比較より）要するに、平成28年3月の合計が2700人、平成29年3月の合計が1万1500人ということは、小杉駅から井田方面に向かうバスの乗車数は、単純計算で平成28年3月が1日当たり約90人に対し、1年後の平成29年3月は約370人と、いうことになり、4倍以上の乗車数になったということだ。

路線を利用したのだが、バス停留所は上屋がない。傘をさしてバスを待つ利用者で長い行列ができていた。雨の日でも夏の暑い日でも、快適に利用したい。タブレット型運行情報表示器の設置と併せて待合環境の改善について意見要望させていただいた。また交通不便地域と言われる川崎市国際交流センターあたりの井田・木月地区を運行するバス路線も求めている。いきたい。今後とも市民の利便性向上の為に、積極的に調査研究する所存だ。

③ 一ヶ月間の乗車数は。一答弁「計2700人（平成28年3月分）に対し、1万1500人余（平成29年3月分）」（※小杉駅・井田方面間。料金箱で収受した実績を確認できるICカード、吉バス停留所から本バス



末永 直 プロフィール

- 国立佐賀大学大学院 教育学研究科卒業
- 自民党参議院議員元秘書
- 昭和58年5月27日 34歳
- 政務活動事務所 〒211-0034 中原区井田中ノ町42-10 問合せ先 ☎044-789-5823

交通局の見解としては「井田・明津地域と小杉駅周辺とのアクセス向上が図られた」とのこと、これ自体は喜ばしいことではあるが、課題も多い。

小杉駅から井田方面への利用者傾向

停留所名	平成28年3月	平成29年3月	対平成28年度比
横須賀線小杉駅	1,249	4,022	322.0%
小杉駅前	278	0	
小杉駅東口	1,199	7,535	510.2%
合計	2,726	11,557	424.0%

※該当停留所において料金箱で収受した1ヵ月の人数の合計 単位:人